

2019.7
事業所
リレー
つうしん

西部事業所

「音楽の街 浜松」では、通年あらゆる演奏会が開かれています。今回ご紹介したいのは、「プロムナードコンサート」です。浜松駅北口広場「キタラ」で4～10月まで(8月は除く)の毎週土曜日に、市内の小・中・高校の吹奏楽部や大学・一般の吹奏楽団体が爽やかな演奏をお届けしています。浜松市民はもちろん浜松を訪れた方々へのおもてなしをしています。事業所からも近いので楽しみです。

他にも新東名「ネオパーサ浜松」の演奏会や楽器博物館、ヤマハ企業ミュージアム「イノベーションロード」など音楽と触れ合う場所がたくさんありますので、是非お越し下さい。

沼津事業所

5月22日(水)に事業所近隣の会社が献血を行うとの事で献血車の停まれる駐車場を探していると事業所に相談があり、利用してもらうことになりました。

当日近隣の会社の社員さん8名、沼津事業所から4名が献血しました。年齢制限があるかと心配しましたが、全員協力することが出来ました。(61歳から65歳までに1度献血を行うと69歳までできるそうです。)思わぬ形で地域に貢献することができました。



定例理事会 2019年度6月20日(木)協議事項

①機関会議の流れについて

5月度活動結果報告

ヘルパー会員数	450名	実働数	393名
事業	活動時間数		
くらしの助け合い	3026.00 時間		
介護保険 訪問系サービス	6013.25 時間		
障害福祉サービス	1783.50 時間		
居宅介護支援	要介護	総合支援	
	502名	216名	
施設名	開所日数	当月利用者数	利用者数/1日
どうぞの家	27日	18名	7.96名
夢コープふじ	27日	19名	7.33名
夢コープいた	15日	35名	8.06名

ヘルパーさんの
ほっこりした話



先日、子供二人とお蕎麦屋さんに行きました。食事をしていると、両方に杖をついた足の不自由なおじいさんが入って来ました。入口は手で自分で開けなければいけません。食事を終えた足の不自由なおじいさんはドアを開けるのが大変そうでした。その様子を見ていた下の息子(6年生)は何も言わずドアを開けに行きました。お客さんから「エライ!!」と大拍手をもらい、照れ臭かったのか息子は下を向いてしまいました。(笑)小さな親切!とても大事な事だと思います。息子の成長に胸が熱くなりました。富士宮 K.W

交通安全スローガン

交差点 しっかり止まろう 停止線

夢コープニュース 2019.7.1 No.303

特定非営利活動法人ワークスコープ夢コープ
〒420-0851 静岡市葵区黒金町 12-5 丸伸ビル 6F

TEL 054-275-1100 / FAX 054-275-1133
MAIL honbu@yumecoop.jp / URL http://www.yumecoop.jp/

2019年7月

今年度副理事長に任命されました鷺山和子です。静岡事業所所長と兼務させていただきます。

夢コープに入会しヘルパーとして仕事を始め、早23年。ヘルパー活動に行くことで、ご利用者からたくさんのお話を教えて頂きました。

今でも深く印象に残っているご利用者は、言葉でのコミュニケーションが難しい障害のある方でした。その方は、ヘルパーの顔をまっすぐに見て、体全体でご自分の気持ちを訴えてきました。気分が良い時は、ほっぺにチュッとしてくれたこともありました。とてもピュアで、見つめられると自分の怠け心が恥ずかしく感じられました。失敗もたくさんありましたが、喜ばれたこともありました。

夢コープの理念である「その人らしい生活の自立支援」を実現するのは、あのピュアな目をいつも忘れずにいることだと思います。

「夢コープにお願いしてよかった。」「ヘルパーさんが来てくれて助かった。」と思っただけの夢コープであるためには、どうすればいいのか、何から始めるのか、今はまだ手探りの状態です。自分が入会した時と比べ、夢コープの働く環境も変化し、職種も増えました。

それぞれの立場でみんな夢コープを良くしていきたいと考えて下さっていると思います。

その思いをまとめて大きな力にできるように、微力ながら頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

副理事長 鷺山和子



ヘルパーの募集ポスターとチラシ

～ ユーコープさんのご協力で～

「ユーコープさんのお店に夢コープのヘルパー募集の協力をお願いしたい」と、事業所から本部に連絡がありました。ユーコープしずおか県本部様に相談したところ11店舗での許可をいただき、5月～7月末にポスター掲示と吊るしチラシの協力をして下さるようになりました。既に、7名の方からご連絡をいただき、内2名が入会して下さることとなりました。応募された方からは、「生協のお店に掲示されていたから安心」のお言葉をいただきました。



ヘルパーの気づきは宝物

昨年度、質の高いサービスと事故防止に繋げるために、ヘルパーの気づきの報告の提出に力をいれました。事業所で提出目標数を決めて、ミーティング等で報告の目的と大切さを伝えたところ、年度末には多くの事業所で80枚を超える報告がありました。それ以前の「ひやりハット」報告は年間数枚でしたから、飛躍的に増えたと言えるでしょう。

提出された報告をみると、ヘルパーという職でなければ気づかないご利用者の自宅での生活がありありと読みとれます。

- ・服薬されているはずの薬が大量に余っていた
- ・今までは問題なくまがけていた浴槽の淵まで足が上がりなくなった
- ・「この蛇口がきつくてね」という、ぽつんともらしたご利用者の一言を拾い上げた
- ・最近食事量が減ったことに気づきお尋ねしたところ「入れ歯が痛い」ことがわかった

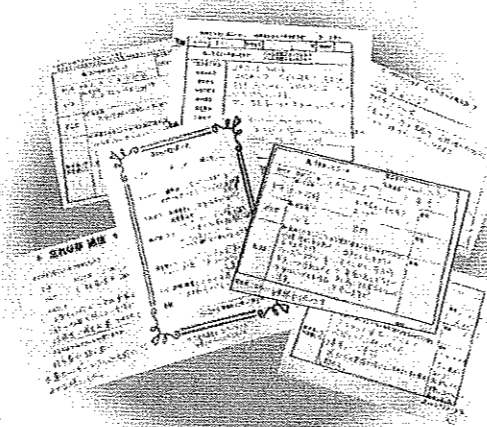
等々、ヘルパーってすごいな！と改めて感じさせられます。

ここから、サービス提供責任者やコーディネーターは関係各所に連絡相談したり、援助内容を変更したりして、ご利用者の安心な生活と事故防止に繋げることができました。

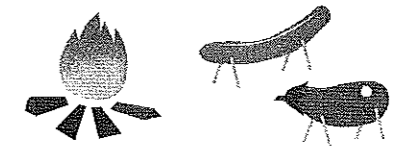
ヘルパーの気づきのご利用者の在宅での生活と密着しています。満足いただけるサービスを提供することはもちろんのこと、「あれ？」という気づきを常に意識して拾い報告することこそヘルパー冥利に尽きるといえるかもしれません。ヘルパーの力をこれからも最大限発揮していきましょう。

各事業所の報告書名

- 沼津：気づいちゃったシート
- 富士：ひやりハットにやりホッと報告書
- 富士宮：事故を未然に防ぐために
- 清水：忘れな草通信
- 静岡：さくらればーと
- しだ：気づきましたシート
- 中部：気づいちゃったシート
- 西部：気づきましたシート



日本の伝統行事 其の四 お盆



起源

ご先祖様が帰ってくる日とされるお盆。これは仏教の盂蘭盆会(うらぼんえ)という儀式がもとになっています。お釈迦様の弟子である目連が、成仏できない母のことを相談したところ、「7月15日に多くの高僧にお供えをして供養するとよい」と言われ、実践したことが始まりです。それが日本古来

の祖霊信仰と融合し、約1500年前から先祖を祀る行事として定着しました。明治時代、太陽暦(新暦)に変わってからは8月15日をお盆とする地域が多くなりました。精霊棚のお供え物は地域や宗派によって様々です。そして家族親戚が久しぶりに顔を合わせる機会にもなっています。

迎え火

13日の夕方に家の門口や玄関でオガラ(皮をはいである麻の茎)を焚いたり、提灯を置いて目印にして迎えます。

送り火

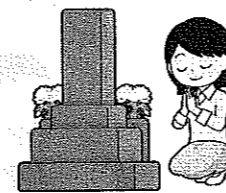
15日か16日に火を焚いたり、提灯を置いてご先祖様が無事に帰れることをお祈りします。京都の五山の送り火などや精霊流しもこれに当たります。

精霊馬

ご先祖様があの世とこの世を行き来する乗り物として、行きはきゅうりの馬で早く、帰りはナスの牛でゆっくりという思いを込めて飾ります。

盆踊り

最初は静かな念仏踊りでしたが、地域の大衆芸能と結びついて華々しい現在の盆踊りとなり、夏祭りと一体化して規模も大きくなりました。



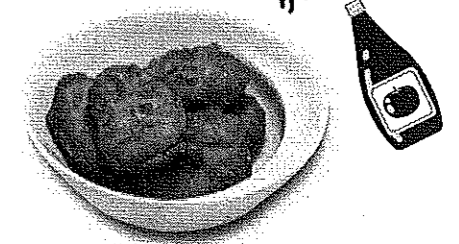
自分が今生きている、存在しているのは両親がいて、先祖がいたからです。1年に1度ちょっと立ち止まって、はらかな命のつながりに思いを馳せてみる—お盆はそんな機会でもあるのです。

参考—「日本のしきたりが楽しくなる本」 火田博文著 彩図社

介護食にもおすすめ!

ふわっふわ! チキンナゲット

材	鶏ひき肉 100g	調味料	薄力粉 大1
料	木綿豆腐 150g		ハーブソルト小1/2 (又は塩小1/4)
	白はんぺん 1枚	①	こしょう 少々



- 豆腐を耐熱皿に載せて電子レンジで2分チンする
- ザルに豆腐を入れて、その上に皿1枚と重しになるものに乗せて水切りする(10分)
- ボウルに豆腐・白はんぺん・ひき肉・①を加えて手でよく潰しながら混ぜる
- スプーンですくい、油170℃でカリッと揚げる
- ケチャップを添えて召し上がれ♪

